

# 世界遺産 本願寺の至宝に 会いに行く。

浄土真宗の開祖、親鸞聖人の入寂からおよそ10年後、  
文永9年(1272年)に遺骨を安置された場所に建てられた廟堂が本願寺の発祥。  
以後、750年もの時を経て、さまざまな時代の変化を見守りながら  
真宗の教えを広め、また豊かな芸術文化も育んできた。  
今回の特別展は、世界遺産にも登録されている  
本願寺(西本願寺)の寺宝が九州で紹介されるまたとないチャンス。  
あなたの目には、思いが映るか、美しさが残るか。  
見方は自由。とくにご覧あれ。

特集

重寶聚英  
親鸞と仏教伝来の道  
**本願寺展**

親鸞聖人  
750回大遠忌  
記念

On the 750th Memorial for Shinran Shonin  
Treasures of Hongwanji

特集

# 本願寺展

重寶聚英  
親鸞と仏教伝来の道

## 750年の歴史を旅しよう。

平安末期から鎌倉時代へと向かう乱世に、生涯を信仰の道に捧げた親鸞聖人。教科書にも登場する肖像の、厳しさみなぎるまなざしを覚えている人も多いかもしれない。親鸞聖人を開祖とする浄土真宗で、本願寺(西本願寺)はその浄土真宗本願寺派の本山。由緒正しき寺院は、たくさんの人々の篤い信仰を集めながらその時に豊かな芸術文化を育ててきた。寺宝が映す750年にも及ぶ人々の営みの息づかい、あなたは感じるだろうか。

覚如が大原へ詣でたシーンを描いているのだが、往來の親子連れがなんともキュート。



### サイドストーリーにも発見が

#### 【幕歸絵】

ぼきえ  
〈重要文化財〉 本願寺蔵  
(巻第1)室町時代 文明14年(1482)  
(巻第8)南北朝時代 観応2年(1351)

本願寺第三代覚如の生涯を描いた絵巻。名だたる能筆家と絵師たちが競作している。速いタッチの淡彩画だが、だからこそ、モデリング的確さ、構図、躍動感など力量の差があらわになるのだ。細部に目を向けると、当時の生活様式、風俗などがよく分かってなかなかおもしろい。

### 繊細優美平安時代のアートブック

#### 【本願寺本三十六人家集】

ほんがんにしほんさんじゅうろくにんかじゅう

〈国宝〉  
平安時代後期(小町集は江戸時代) 本願寺蔵  
写真は重之集

いわゆる三十六歌仙の歌集だが、古いものがこれほどまとまって現存しているのは、本願寺本だけ。凝りに凝った料紙装飾と優雅な書体の調和が見事で、王朝文化の美意識を体現し尽くしている。昭和初期には、2冊分をほどいて掛け軸に仕立て、それを売却したお金で、なんと大学を設立したほど価値のあるものなのだ。

### 本願寺ゆかりの名宝が一堂に

**本**展では、本願寺ゆかりの文化遺産と美を通して、親鸞と仏教の歩んできた道をたどる。会場は4章構成で本願寺の至宝の数々が展示されている。

第1章では、肖像や絵伝、『教行信証』などの著述を通して、信仰に生きた親鸞の生涯に迫り、第2章では、本願寺歴代の肖像と聖典に

より、発展を遂げた本願寺の歴史をひもとく。九州での浄土真宗布教に大きな役割を果たした蓮如の筆による、『歎異抄』の最古写本も展示される。第3章では、珠玉の美術工芸品が登場する。何といても目玉は、国宝の「本願寺本三十六人家集」だろう。比類ない美しさを誇るこの歌集から、今回は6冊を展示し、週ごとにページを替えていく。また、あまり知ら

れていないのだが、実は本願寺には数多くの障壁画が存在する。国宝の白書院や飛雲閣などから実物をお借りし、書院の空間を疑似体験できるような構成でお見せする。第4章は、大谷探検隊と仏教伝来の道を紹介する。押し寄せる近代化の波の中、第二十二代門主・大谷光瑞は、インドを発して日本にたどり着いた仏教の道を西域に求め、探検隊を派

遣した。その成果は日本へ持ち帰られ、現在も研究が続けられているのだ。

本展は、平成23年に迎える親鸞聖人750回大遠忌の記念事業の一環として企画された。国宝4件、重要文化財24件を含む、約130件もの本願寺ゆかりの品が一堂に会する、九州初の大規模な展覧会である。この貴重な機会をお見逃しなく。



### その鋭いまなざしで見ていたものは?

#### 【親鸞聖人影像(熊皮御影)】

しんらんしょうにんえいそうくまがわのこえい  
〈重要文化財〉 南北朝時代  
奈良国立博物館蔵  
展示期間 10/23~11/18

足下の敷物が熊皮のようだというので「熊皮御影」とも呼ばれている。吊り上った太い眉、鋭いまなざしといった、教科書などでも馴染みが深い親鸞の特徴がよく出ている。画面全体にみなぎる緊張感もあまって、厳しいまでに信仰を追求した親鸞の生き方が、ひしひしと伝わってくる。

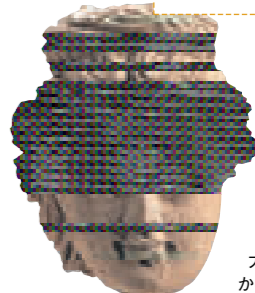


首に巻いた白い布「帽子(もうす)」は、親鸞のトレードマーク。逆にこれで親鸞だと判断することもあるほどだ。

箔足の立った金をバックに、盛上げ彩色の白い孔雀が遊ぶ。この豪華さ、質感。やっぱり実物を見ないと!



現代でも通用しそうなエレガントなまとめ髪。ギリシャ彫刻の影響を受けていたのかも。



### 粘土製エギゾチック菩薩様

【菩薩頭部】  
ほきつどうぶ  
6~7世紀  
龍谷大学蔵

大谷探検隊により西域から持ち帰られた菩薩頭部。目鼻立ちが顔の中央に集中するのが、西域塑像の特徴だ。芯の周りに粘土を巻き付けて概形を作った後、型押しした面部などを貼り付けたとみられる。この地域では彫刻に適した石材が産出しないため、寺院の壁面は塑像の仏像や壁画で装飾された。

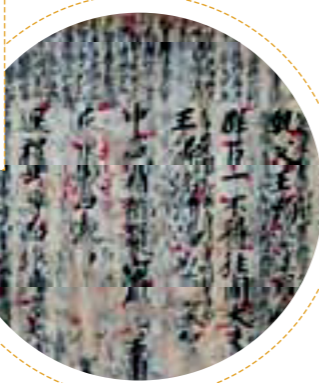
### お寺の広間ってこんなに豪華

【松桜孔雀図】  
(国宝 白書院三の間襖絵)  
まつざくらくじゃくず  
(こくほうしろうしよんさんのまふすまゑ)

江戸時代前期 本願寺蔵  
国宝白書院の三の間と二の間を仕切る絢爛豪華な襖が、会場にお目見え。応接間の役割を果たす白書院は、部屋ごとに画題が異なる襖絵が四方をぐるりと囲んでいる。つまり、この絵の裏面には別のテーマの絵が描かれているのだ。果たしてどんな絵なのか。答えは会場で。



余白にびっしりと書き込まれた註記から感じられる親鸞の気迫。ほとぼしる学究への情熱を感じる。

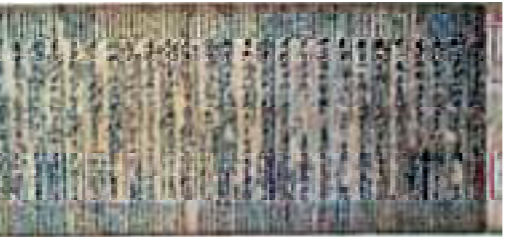


### 信仰にかけた情熱を感じずにはいられない

#### 【観無量寿経註】

かんむりょうじゆきょうちゆう  
〈国宝〉 鎌倉時代 本願寺蔵  
展示期間 9/22~10/21

阿彌陀仏信仰の根本的な経典の一つである『観無量寿経』を親鸞が書写し、註を加えたもの。お経そのものに込められた思想、中国や日本の先人たちによる解釈を研究した上で、自分なりの解釈を記している。



学芸部文化財課資料管理室長 伊藤信二

1968年生、文化庁で国宝・重要文化財の指定や修理業務に従事したのち現職(文化財課資料管理室長)。専門は仏教美術史(特に工芸史)。「本願寺の至宝が九州に一堂に会する初めての機会です。ぜひ、ご覧ください。」

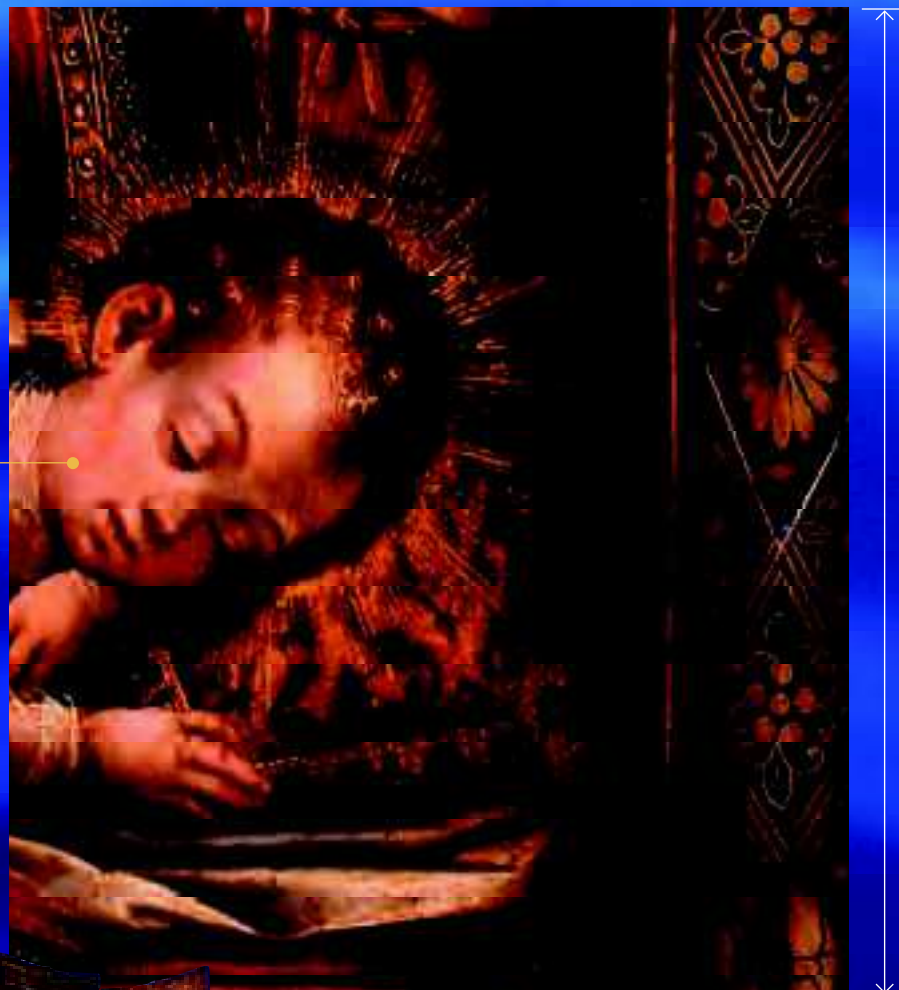
# 原寸 Actual Size, KYUHAKU 図鑑

## 【花鳥蒔絵螺鈿聖龕】

分野/漆工 時代/日本 桃山時代・17世紀  
展示期間 10/2~12/2(予定)

すやすやと眠るキリストを見守る聖母マリアと聖ヨゼフ、寄り添う洗礼者聖ヨハネを描いた油彩。それを録取するのは、なんと日本古来の漆芸技術である蒔絵。しかもびっしりと文様が描かれている。「余白の美」など、これっぽっちも頭がないようだ。

奥行き5センチの厨子形式。イエズス会宣教師の注文により作られた。藤やもみじなどの日本の植物と、イスラムのアラベスクを思わせる模様がせめぎあう。様々な国を経て、日本に辿り着いた宣教師の歴史を感じさせる。聖画はヨーロッパで製作された。



原寸大

615  
m/m

### 蒔絵と螺鈿の お厨子の内側で展開する、 聖書の世界。

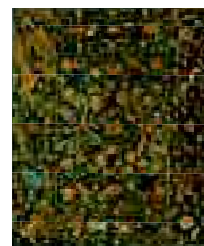
とても大切な、信心の拠り所となる絵だったのだろう。キリスト教の聖画を納めるこうした箱を聖龕といい、これまで30点ほど確認されているが、装飾の精緻さ、美しさにおいて、本品は最上級のものだ。1543年、種子島にポルトガル人が漂着

したのをきっかけに、多くの宣教師が日本を訪れるようになった。彼らは日本の芸術、特に漆芸に魅了される。何といても、磁器は"China"、漆は"Japan"と呼ばれるくらいなのだから。彼らは蒔絵職人に依頼して、キリスト教の祭具を作らせた。

これが南蛮漆器の始まりだ。南蛮漆器は、ヨーロッパで評判となったが、やがて徳川幕府によるキリスト教の弾圧とともに消えていった。製作されたのは、わずか50年ほどの間だった。

## 未知の文化と出会う時 いつでも光があった。

文化交流展示室から「光」をテーマにピックアップしてみました。いにしえの人々の見た光はどのようなものだったのでしょうか。



【刺繍ベッドカバー】  
分野/絹刺繍 時代/中国  
明・16世紀~17世紀  
展示期間 10/2~12/2

牡丹や虎など中国らしいモチーフから、象や架空の獣までもが色とりどりに刺繍されている。現実と空想が入り混じり、光り輝く楽園のよう。ヨーロッパへ輸出された。

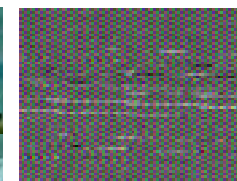
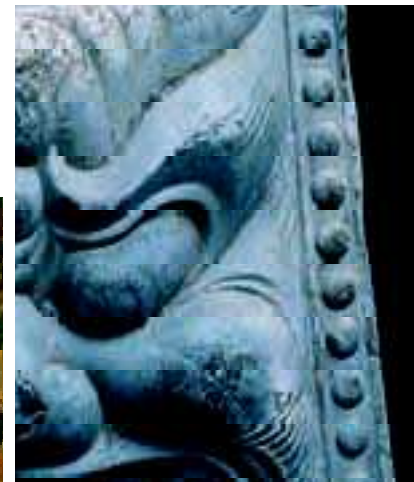


【太刀 銘 来国光】  
(国宝)  
分野/刀剣 時代/鎌倉時代・14世紀  
展示期間 10/10~12/24

国宝3点、重要文化財21点を数える名工・来国光の代表作。まっ直ぐにすうっと流れる白い刃文は、国光の得意とする表現だ。明治天皇のお手元に置かれたこともある。



【鬼瓦】  
(重要文化財)  
分野/考古 時代/日本  
奈良時代・8世紀  
11月中旬以降展示予定  
思い切ったトリミングで、瓦全面に憤怒の表情が形作られている。大宰府が統括した古代九州の建築に用いられた。今も、飛び出さんばかりの鋭い眼光で私たちを睨み続ける。



【ロシア船長崎出航の図】  
【亜魯西亜船湊下図】  
分野/歴史資料 時代/日本  
江戸時代・1805(文化2)年  
展示期間 10/10~11/4  
日本近代の夜明けも間近。通商貿易を求めて長崎に来航したロシア使節レザノフが、交渉終了後、長崎港外へ曳航される場面。幅5メートル近くもある巨大な絵図である。

### 【文化交流展示室】

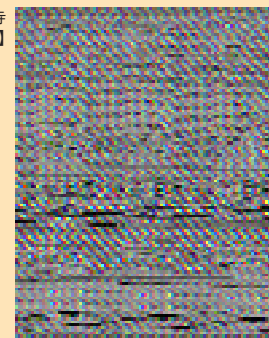
### 特集陳列案内

#### ■釈迦誕生図~受け継がれる朝鮮仏画の名品~

期間:平成19年10月10日~11月18日  
場所:文化交流展示室 関連11室

本岳寺(福岡市)蔵「釈迦誕生図」は、2年間もの歳月をかけ、伝統の技と最新技術の融合による修理がこの3月に完了しました。とても傷んでいましたが、見ちがえるように美しくなりました。修理の過程や関連作品を交えて、普段あまり触れることのない文化財修理の世界を紹介します。

本岳寺  
【釈迦誕生図】



#### ■朝鮮通信使

期間:平成19年11月20日~平成20年1月6日  
場所:文化交流展示室 関連11室  
「多彩な江戸文化」

朝鮮通信使400周年を記念して、書き換えられる前の国書をはじめとして、対馬宗家や日朝交流関係資料を陳列します。12月15日、16日にシンポジウムを開催予定です。

※展示期間は都合により変更になる場合があります。

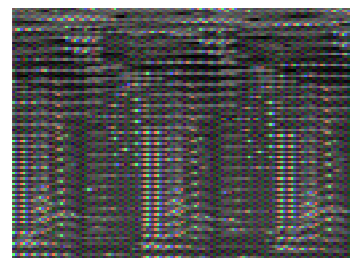


# きゅーはく見学!

## 【X線CTスキャン装置】

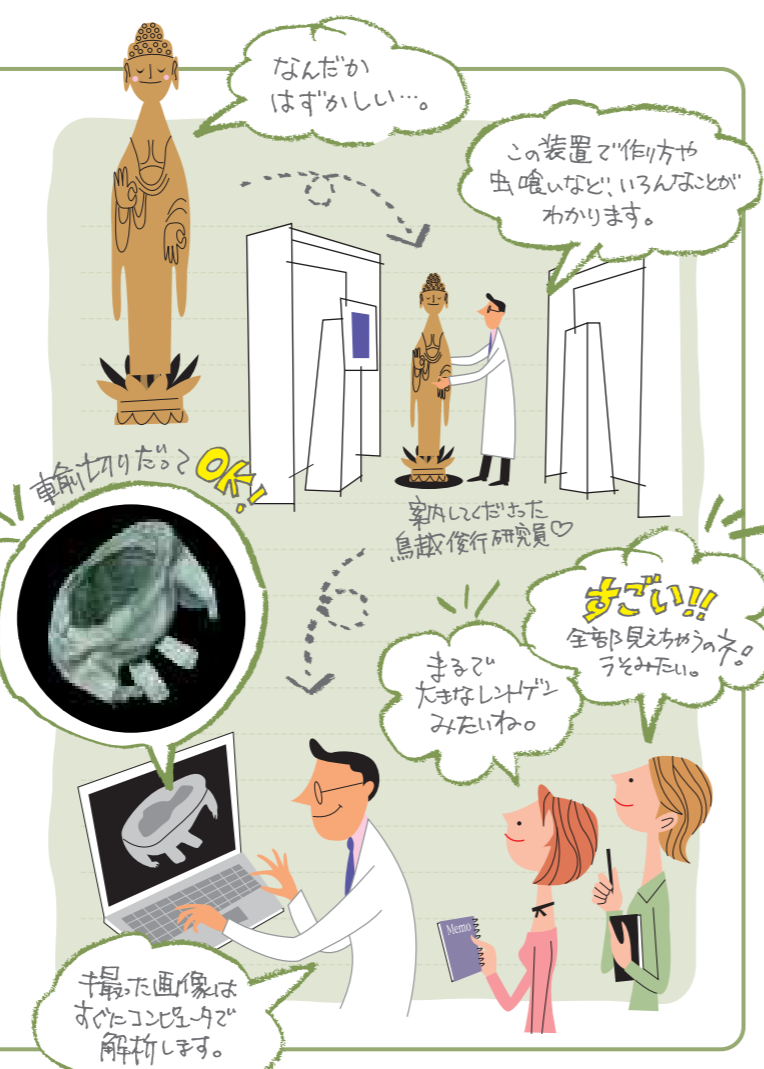
貴重な文化財や歴史的な品々を展示するのが博物館の役割。というのが一般的な認識ですが、実は九州国立博物館には、それだけではない大事なオングトがあるのです。それが文化財の調査、研究と修復です。

ここで大活躍しているのが「X線CTスキャン装置」です。これは、例えて言うなら文化財の3次元のレントゲン。文化財のものでは最新の装置で、対象物にX線をあて、レントゲン写真を複数撮りコンピュータで計算することで、3次元の立体的な情報が得られるのです。表からはわからない内側もわかれば、人間にとってのレントゲンの役割よろしく、文化財の「健康状態」を知る手がかりにも。約0.2mmの材質まで識別できるため、内部の細かい亀裂、使われている木材の年輪なども分かります。「こんなところに虫食いがある!」などというのもマル見え。おかげで、作品



の作り方が分かり、修理も楽になったのです。

調査されるのは、九博の展示物だけではなくありません。全国各地の貴重な文化財の調査も行っています。この装置のおかげで、もうすぐ世紀の大発見があるかも?!



kyuhaku a la carte

FOOD

### 京の風情が、詰まっています。

九博隣接のレストラン「グリーンハウス」の、秋のオススメが「松花堂弁当」(1840円)。今回の「本願寺展」に合わせて作られたメニューで、京料理をメインに色鮮やかな手料理がお重の中に詰まっている。食材の持ち味を最大限に活かした料理は、米なすの田楽や南京万十、牛ロースの大原女など充実の顔ぶれ。九博でゆったり歴史を感じて、その気分を身にまとったまま、ランチでさらに京の風情を楽しんでみては?



Check it out!

九博に隣接するレストラン「グリーンハウス」

「ホテルニューオータニ博多」の直営店として人気を集め、料理は和・洋・バラエティに富んでいる。九博のテーマに合わせた期間限定メニューも要チェック。ランチをめざすなら行列覚悟で。



kyuhaku a la carte

SHOPPING

### こんなカワイイ虫なら、飼ってみたいかも?!

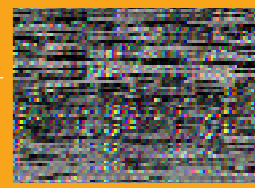
それは、まだ織田信長が活躍していた頃のハナシ。当時の医学書「針聞書」によると、人間の体の中には「虫」がすんでいて、その虫たちがさまざまな病気を引き起こすと考えられていたとか。例えば、肺にすむ「肺虫」や、耳と心臓の間をくねくね移動する「耳虫」などなど。九博のミュージアムショップには、そのユニモラスな虫くんたちのグッズが並んでいる。ぬいぐるみから携帯ストラップ、クリアファイル、Tシャツ・etc.と、アイテムも多彩。気の抜け具合が絶妙なユニークキャラが揃って、ただ今人気上昇中です。おみやげにすれば笑いを誘うこと必至。病氣退治のおまじないの意味も込めつつ、お一ついかが?



Check it out!

九博のミュージアムショップは楽しさいっぱい。

手ごろで楽しいグッズから、おいしいオリジナル菓子、おしゃれなファブリックまで何でも揃っている。誰!?ここだけでも十分楽しめるなんて言ってるのは!



## MUSEUM, MY STYLE

九州国立博物館 × ワタシ

VOL.01

### 時代のエネルギーを全身に浴びる。そんな快感があるんです。

仕事柄、毎年ニューヨークを訪れていますが、あの街はいつもエネルギー。文化や流れる時間など、街を取り巻く環境のすべてが刺激に満ちていて、体中が充電されるような心地よさを感じるんです。その感覚は、博物館を味わうものと同様だと思う。展示されている絵や品を観ていると、創った人の息づかいやその背景が肌にダイレクトに伝わってきて、まるで時代の勢いを全身に浴びたような気分です。

僕はモードの世界に携わっていますが、何かヒントを得たいと思うと、自然と足がミュージアムへ向かっている。それは多分、この場所に時代や人間を知るためのヒントがギュッと詰まっているから。流行を作る者なら誰でも、歴史に学ぶことって本当に多いと思うんですよ。



YASUさん ●スタイリスト

福岡市中央区大名の「中村美容室」三代目店主。10年前に渡米し、以来日本とニューヨークに拠点を置いて活動している。雑誌、広告、コマーシャル、コレクションと幅広い分野で活躍。

### KYUHAKU MY FAVORITE

大航海時代にインドで作られた、キリスト教聖書用の書見台が YASUさんのお気に入り。IHS はイエズス会の紋。「時間の速さで今と違うでしょ。これが丹念に作られていく工程を想像すると、職人の熱い信仰心が伝わってきますよね。」

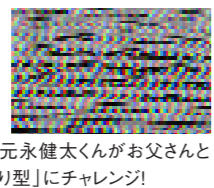


【書見台 IHS紋 彫木彩色】  
インド 16~17世紀  
展示期間 10/2~12/2

## だいすき! あじっば

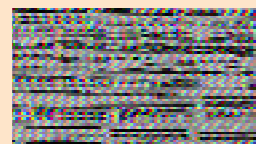
### BOXキットコーナーで遊ぼう!

博物館1Fに設置されている「あじっば」は、大人から子どもまで楽しめる体験型の展示室。コーナーごとにアジアやヨーロッパ諸国のさまざまな文化が紹介されています。今回は、小学校1年生の元永健太くんがお父さんと一緒にBOXキットコーナーで「紋切り型」にチャレンジ!

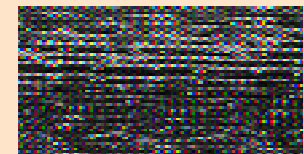


### 1 『BOXキット』を選びます。

「あじっば」でも人気の「BOXキットコーナー」では、自分の好きな箱を選んでいろいろな国の文様・色・形を遊びながら体験できます。健太くんは、「紋切り型」のボックスをチョイス!



### 2 BOXには、こんなモノがセットに。



キットのボックスには、工作に必要な道具が一式揃っています。健太くんが選んだボックスには、ハサミ、のり、折り紙、見本、作り方、台紙がセットに。

江戸時代に流行った遊び「紋切り型」に挑戦してみよう!

### 3 上手に作れるかな?

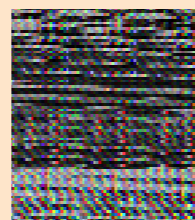
「紋切り型」とは江戸時代に流行った遊びで、折り紙やハサミを使って日本に伝わる伝統の紋の形を作ります。健太くん、うまくできるかな?



太宰府小学校 元永健太くん

### 4 パパといっしょに、完成しました!

見本を参考にしながら、折り紙をハサミでチョキチョキ。わからないときはスタッフの人が教えてくれるので安心。切り抜いた折り紙を開けば、みごと完成です!



### 5 作品は持ち帰っても、展示してもOK。

自分で作った作品は、持って帰ればウレシイお土産になりそう。もちろん、「あじっば」内に展示して、多くの人に見てもらってもOK。BOXキットでは他に韓国の箱や文字絵を作ったり、パズルなどを体験したりできるよ。

# Exhibition Schedule

足利義満六百年遠忌記念

## 「京都五山 禅の文化」展

平成20年1月1日(火・祝)～2月24日(日)



写真は相国寺

「京都五山」は、中国にならって定められた禅宗寺院独特の制度で、別格の南禅寺から順に天龍寺、相国寺、建仁寺、東福寺、万寿寺と続く寺院群を指します。今回は、その京都五山や、ゆかりの寺院に伝わる禅文化の名宝を展示します。おおよそ二百件にのぼる出陳作品のなかには、九州で初公開されるものも少なくありません。この機会にぜひご来観ください。

## 10～12月 Event Schedule

日付	イベント名	場所	時間
10月7日(日)	きゅうはくミュージアムコンサート	1Fエントランスホール	①13:00～②15:00～
10月27日(土)	ガムランワークショップ ～五感で知るアジアの青銅楽器の魅力～	1Fエントランスホール	13:30～
10月27日(土)	ミュージアム講座	1Fミュージアムホール	14:00～15:30
11月4日(日)	きゅうはくミュージアムコンサート	1Fエントランスホール	①13:00～②15:00～
11月10日(土)	ガムランワークショップ ～五感で知るアジアの青銅楽器の魅力～	1Fミュージアムホール	13:30～
11月11日(日)	ミュージアム講座	1Fミュージアムホール	14:00～15:30
11月18日(日)	日・中・韓学術文化交流協定締結記念国際シンポジウム 「百済と古代東アジアの国際交流」	1Fミュージアムホール	10:00～17:00
12月24日(月)	きゅうはくミュージアムコンサート	1Fエントランスホール	①13:00～②15:00～

\*上記のイベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。  
\*一部、有料イベントがあります。

### ■開館時間

9:30～17:00(入館は16:30まで)

### ■休館日

月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)  
\*ただし9月25日は開館

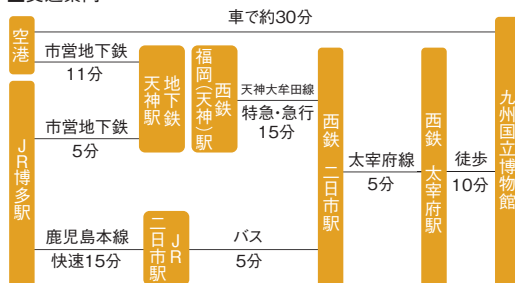
### ■観覧料(特別展は別料金)

一般:420円(210円)  
高校生・大学生:130円(70円)

### ■特別展「本願寺展」観覧料

一般:1,300円(1,100円)  
高校生・大学生:1,000円(800円)  
小学生・中学生:600円(400円)

### ■交通案内



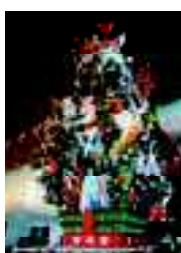
駐車場(有料)に限りがあります。ご来館の際は公共機関をご利用ください。



\*()内は20名以上の団体料金\*障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。\*中学生以下、70歳以上の方は、文化交流展示については無料。入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。\*特別展「本願寺展」の観覧料で、文化交流展示もご覧いただけます。\*満65歳以上の方は、特別展「本願寺展」の()内料金でご入場いただけます。入館の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。\*特別展「本願寺展」の開催期間は9/22(土)～11/18(日)です。

### 館長、男の晴れ姿!

今年も博多の夏を熱く賑わせた「博多祇園山笠」。集団山見せでは、当館館長・三輪嘉六が一番山笠・土居流の“台上がり”の大役を無事務めました。また山笠の期間終了後、十五番山笠・天神一丁目の飾り山が今年も当館のロビーに引っ越し展示され、訪れるお客さまの目を楽しませていました。



※展示は11月18日まで



## 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

(ご案内)NTTハローダイヤル **050-5542-8600**

※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

<http://www.kyuhaku.jp>

九州国立博物館ホームページ内に

### 「きゅうはくPLUS」OPEN

太宰府周辺のおすすめスポットや散策コースなど、九州国立博物館へのご来館がより楽しくなる情報を発信します。10月にHP内に開設予定。請うご期待!!